

大会役員

大会 副監	会長 長事	品田吉博 恩村一郎 田川芳紀	蓑嶋和央 高野洋史	澤田義盛	志田幸雄
----------	----------	----------------------	--------------	------	------

大会委員

大会委員 副委員長 委員長	玉井清史 中村富士雄 赤松幸広 遠藤典康 小西淳一 志田光瑞 谷野伸也 山岸正直	安曇範子 大町和一幸 斉藤杉中 古田	井上晃男 岡村美穂 坂井秋幸 竹居田勝 早崎山雅	井上智雄 小川秀一 佐藤光宏 竹田安也 日裏徹行 安岡
---------------------	---	-----------------------------	--------------------------------------	--

競技役員

総務 副総務 総務 技術 トラック審判長 フィールド審判長 ジュリー(上訴審判員) 記録 情報処理員 アナウンサー マーシャル(場内司令) 兼練習場係 競技者係 役員・庶務係 公式計測員 器具係 風力計測員 周回記録員 写真判定員	井上晃男 志田光瑞 (ト)肥田政博 吉田牧人 斉藤一幸 赤松幸広 志田幸雄 (田)薄昇 川上重子 (田)幅崎雅仁 高木直子 鈴木茂樹 (田)渋谷俊之 茂野淳一 畑昌吾 (田)輪島忠幸 藤石文平 (田)道浦陽子 吉川伸彦 市橋麻衣 富永裕一 (田)蓑嶋和央 岩間富子 吉田牧人(兼) (田)岩渕論 大井貴博 (田)中村富士雄 高橋央匡 今野知宏 (田)坂井秋人 古田仁 (田)中島正樹 西川剛 酒井慶	(フ)平野伸也 (兼)竹田安宏 (兼)小川秀一 (兼)岡村美穂子 南山雅礼 廣瀬恵理子 小笠原太郎 佐藤裕二 小林孝 兼間昌智 安曇範子 平林和樹 佐野香織 松田顕二 笹山雄司 小川秀一(兼) 高坂守人 笠井強 森田隆一 渡邊啓 蜂屋真由美 高橋瑞帆 藤村勝江 郡司厚志 森恵美子 斉藤泰子 木浪大 林功 島敏昭 藤井保 太知謙論 小林孝和 中脇信司 中村貴裕 住岡浩 岡智哉 竜田淳一 大森喜幸 加藤久幸 久住薫 長谷川論 豊川洋人 田中拓己 臼井友洋
---	--	--

監	察	員	(主)西巻 秀仁					
			世良田弘治	西田 侑弥	吉田 憲昭	新里 和也	細川 敏明	
			加藤 慶太	内海 悠季	榎戸 朗	吉井 勇気		
ス	タ	ー	(主)大町 和敏	遠藤 典康				
			日向 敏明	佐藤 光司	金子 秀彰	小森 勝	岩佐 晋平	
			田中 勇心	佐藤 圭祐	竹田 安宏(兼)			
出	発	係	(主)谷 知樹	田邊 均				
			町 悠太郎	吉尾 孝行	斎藤 竜也	加藤 貴峰	門田 正順	
			櫻澤 智志	高橋 秀典	芳賀 陽子	白幡十夢良	村上沙也加	
			氏家 大輔	伊藤 俊文				
跳	躍	審	(主)高橋 巧	野間 一也	須藤 敏明			
		判	小山 里司	梅津 義信	鎌田由紀子	神 慶次郎	藤井 貴浩	
		員	古屋 泰仁	藤村 洋之	菊池 一樹	本間 史恵	田中麻紗子	
			稲川 晃	矢野 慎吾	形部眞一郎	下田 祐太	鎌田 幸枝	
			藪本 倫紀					
投	て	き	(主)堤 裕之	伊藤新太郎	鶴野 和憲			
		審	橋本 秀樹	津田 坦幸	可香谷紀子	沼口 悦子	依田 芳吏	
		判	藤根 淳一	山崎 翔平	鈴木 日菜	齋藤 好子	山下 修平	
		員	串山 義裕					
光	波	計	(主)樋山 良司					
		測	澤尻 知徳					
補	助	員	肥田 政博(兼)	竹田 安宏(兼)				
医	務	員	山口真沙美(兼)					

競 技 注 意 事 項

- 本大会に適用する競技規則は、2017年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項により実施する。
- 本競技場における朝の練習は7：45までとする。投てき練習は一方で行い、周囲に十分気をつけて行う。ウォーミングアップでのフィールド内の使用は禁止する。
- 競技者の招集について
 - 招集所は競技場第1ゲート側の外に設ける。
 - 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。
棒高跳のみ、招集開始時刻70分前、招集完了時刻60分前とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	フィールド競技	40分前	30分前

- 招集方法
 - 競技者は、招集開始時刻前に、競技者招集所付近に掲示した出場競技者一覧表に、競技者または代理人がチェックする。(○で囲む)
 - 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所で待機する。
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
 - 他の種目と兼ねて出場する競技者は、そのことを競技者係に申し出て、出場の確認を受ける。
- 競技場への入退場について
 - 競技場への入退場は、係員の誘導に従い規律ある行動をとること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。トラック内は場内司令の指示に従う。
 - トラック競技出場者は、フィニッシュラインに到着後、第2ゲートを通り退場する。また、メインスタンド前、本部前の通行は禁止とする。
 - フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員・場内司令の指示に従う。
- ナンバーカードについて
 - 使用するナンバーカードは、今年度中使用するもので大切に保管する。紛失した場合は、各自で用意する。(アスリートランキングでエントリーする大会は、1年間、同じナンバーを使用する。)

- (2) ナンバーカードは、必ずユニフォームの胸背に確実に付ける。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかでよい。
- (3) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付ける。3000mでは、黄色のレーンナンバーカードを使用する。
- (4) ナンバーカードをつけずに競技に出場することはできない。

6. 競技について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- (2) スパイクは11本以内、長さは9mmを超えてはならない。走高跳の場合、12mmを超えてはならない。
- (3) トラック競技におけるスターティングブロックセット後のスタート練習は、時間短縮のため30mまでとする。同様に、100mH・110mHのハードル練習は2台までとする。
- (4) 事故防止のため、ゴール到着後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (5) 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用できる。
- (6) 棒高跳び及び走高跳のバーの上げ方については、当日に決定する。

7. その他

- (1) 正面開門時間は6:30、ゲート開門時間は7:00を予定している。
- (2) 受付および参加費の納入は、7:15頃から正面スタンド下大会本部で行う。
- (3) プログラムの訂正は、7:45までに大会総務に申し出る。
- (4) 役員全体打ち合わせは7:45からメインスタンド前で行い、その後各パート打ち合わせを行う。
- (5) ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (6) ゴミの始末は各自・各チームが責任をもって行き、競技場にはいっさい捨てないこと。
- (7) テントの設置は、取り扱い説明書に従い、しっかりと固定すること。
- (8) テントは、野球場側や駐車場周辺には事故防止のため設置しないこと。
- (9) 車の駐車について、2015・2016年円山陸上競技場通行証（札幌陸協発行）にて駐車することが可能です。なお、この大会期間にて、札幌陸協審判登録を行えば、2017・2018年円山競技場駐車通行証が発行されますので、手続きをしてください。当日円山球場は、大学野球の開催が予定されています。野球場側へは駐車しないでください。なお、フェウルボールによる車の損傷があっても、当協会では、保証は一切出来ませんのでご注意ください。

8. 審判業務について

- (1) 補助員について、ご協力いただける学校等ありましたら、総務（庶務）に人数をお知らせください。その後、人数や担当部署の調整を行います。補助員は8:00にメインスタンド前に集合してください。
- (2) 用器具係担当部署の準備が出来次第、用器具のセットは各パートで行ってください。また、終了後の撤去については、パートごと出来る範囲で行ってください。終了後は用器具係に報告してください。

〔運営要領〕

各用紙の流し方

(1) スタートリスト

トラック競技	競技者係 →	出発係・トラック審判長・写真判定員・監察員・（風力計測員・周回記録員・競歩審判員）・アナウンサー
フィールド競技	競技者係 →	各担当審判（跳躍・投擲）・フィールド審判長・（風力計測員）

(2) リザルト

トラック競技 フィールド競技	記録員 →	各審判長（トラック・フィールド）・アナウンサー・掲示
-------------------	-------	----------------------------